

教育臨床心理実践センターだより

教育臨床心理実践センター発行

2011年5月発行 第一号



教育臨床心理実践センターは、教育臨床心理に関する教育・研究・地域支援並びに関連する事業を推進することを目的として、平成22年8月に「京都教育大学附属教育実践機構センター」のもと、新しく独立したセンターとして設立されました。

センターの沿革

平成12年 教育実践総合センター内に教育臨床分野が発足。心理教育相談室を開設する。大学院学校教育専修教育臨床心理学分野が臨床心理士受験資格の第2種指定を受ける。

平成14年 教育臨床分野の教員が1名増となり、教育臨床分野は専任教員2名体制となる。

平成16年 大学院教育学研究科学校教育専修において、教育臨床心理学コースを新設。

平成17年 大学院学校教育専修教育臨床心理学コースが臨床心理士受験資格の第1種指定を受ける。

平成22年8月 京都教育大学附属教育実践センター機構設置に伴い、教育臨床研究部門が教育臨床心理実践センターとして独立する。

センター長挨拶

教育臨床心理実践センター長 本間友巳

沿革にも書かれているように、本センターは昨年8月に、それまでの教育実践総合センターの一部門から独立し、新たに「教育臨床心理実践センター」として設立されました。

この背景には、「心理教育相談室」での相談活動や「カウンセリング研究会」など、教育臨床心理に関わる諸活動の増大と充実があります。また同時に、教育臨床心理に関する取り組みへの、周囲の方々からの一層の期待も込められていると感じています。

この期待に応えるために、本センターでは、4月から附属学校(桃山中学校と京都小中学校に各1名)に、教育臨床心理の専門家であるスクールカウンセラーを派遣する取り組みを始めました。附属学校園に通うすべての子どもたちの健全な心理社会的発達への一助となることをめざして、センターをあげてこの取り組みを充実させていきたいと考えております。

これまで同様、教育臨床心理の調査・研究を積極的に推し進めていくとともに、附属学校を含む地域社会により一層貢献できるセンターにしていきたいと思っております。どうぞ、よろしくお願いいたします。



今年度はじまる主な事業について

- 平成 23 年 4 月より、附属学校園にスクールカウンセラーを派遣します。
- 本学心理教育相談室では、平成 24 年 3 月末まで、東北地方太平洋沖地震の被災者および東北地方太平洋沖地震に直接関連する相談は、無料で行うことを決定しております。

心理教育相談室について

個人・家族・学校などの悩みや困った問題について心理的援助を行っています。まずは電話にて、お気軽にご連絡ください。075-644-8824(月曜～金曜、午前 10 時～午後 4 時)

スタッフから

花田里歐子・・・素晴らしい環境のもとで、臨床、教育、研究にたずさわれることをとてもありがたく思っています。みなさまのニーズに沿えるような活動を展開してまいります所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

岩瀬佳代子(月曜日勤務)・・・勤務 9 年目。各種カンファレンスに参加する中で、ケースから多くの学びを得ました。お返しできる立場にまで育てていただいたことに感謝しています。今春より附属桃山地区のスクールカウンセラーとして勤務しています。よろしく申し上げます。

荒井久美子(火曜日・金曜日勤務)・・・心理教育相談室相談補佐員の荒井久美子です。緑あふれるキャンパスで、院生さんの相談室実習の補佐業務をしながら、ともに勉強の日々を送っています。4月からスクールカウンセラーとして、京都小中学校でも活動を始めました。よろしく申し上げます。

西山智栄子(水曜日・木曜日勤務)・・・相談補佐員の西山智栄子です。相談室に実習に来る多くの院生さんとお話し、刺激を受ける日々です。また、相談申込みの電話では、電話をしてよかったとだけいただけるような対応を心がけていきたいと考えています。よろしく申し上げます。

編集後記

教育臨床心理実践センターのニュースレターを発行することになりました。センターの活動をみなさまに身近に感じていただけるようになればと思っています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします(花田里欧子)。

